

<日本史探究②> 律令体制② 教科書: P.39~P.40

問(1)二官は、行政全般を司る(A)官、祭祀を司る(B)官からなる。(A)官の最高責任者である(C)は、適任者がなければおかれた。

A=[] B=[] C=[]

問(2)天皇の側近で、詔書の作成などを司る省は? []省

問(3)国家の仏事・外交を司る省と裁判を扱った省は? []省&[]省

問(4)文官の人事・学校などを司る省は? []省

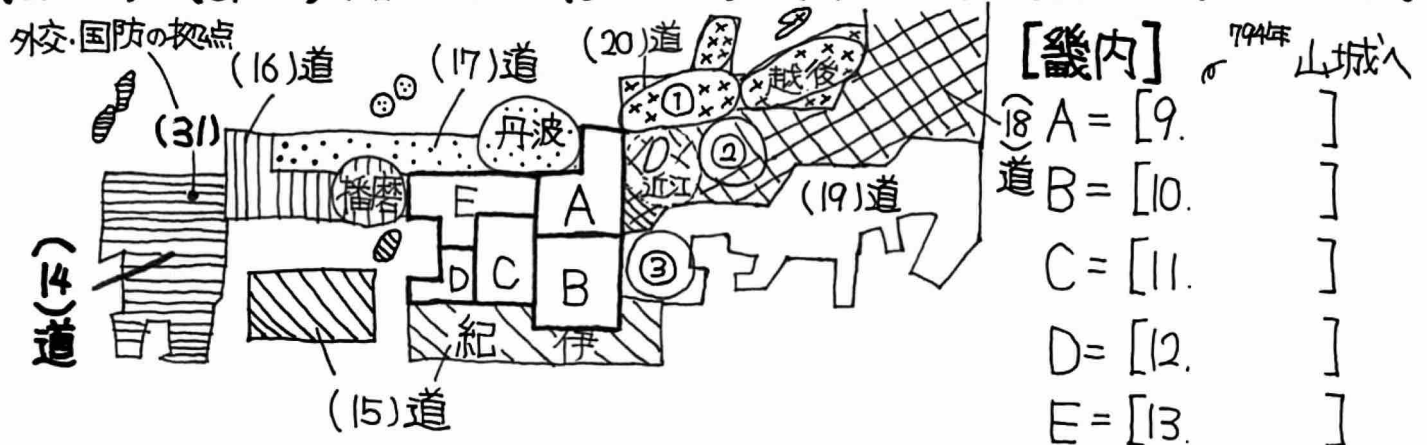
問(5)戸籍・租税を司り、国家財政を担う省は? []省

問(6)出納・物価を司る省と軍事を司る省は? []省&[]省

問(7)宮中の一般庶務を司る省は? []省

3 地方の行政区画

① 全国は (1.)・(2.)の行政区に分けられ、その下に (3.)・(4.)・(5.)が設けられ、(6.)・(7.)・(8.)がおかれた。



【七道】

(14.)道・(15.)道・(16.)道・(17.)道・(18.)道
(19.)道・(20.)道

※①~③には「三関」とよばれる3つの関所が置かれている!

①越前国: (21.)関/②美濃国: (22.)関/③伊勢国: (23.)関

【地方官制】

<諸国>

軍団

大宝律令以前は (26.)

(3.) (4.) (5.)

・(6.)は
中央の貴族が任命

・7はもと(25.)

・役所を(27.)

・役所を(24.) [=国衙] [=郡衙]

↑
のちの
郷

<要地> 東西 (29.) が所属

左右 (28.)

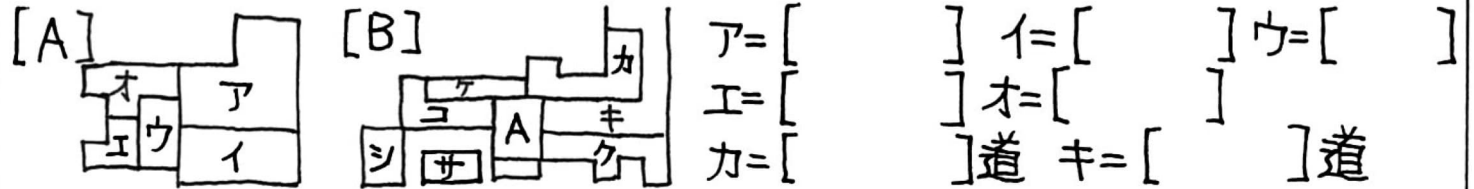
都の一般行政

(30.) : 外交の拠点

(31.) : 遠の朝廷

問(1) 律令体制において、全国はどのように分けられた? (A.)・(B.)

問(2) 下の簡易地図の(ア)~(シ)に入る語は?



ケ=[] 道 ケ=[] 道 コ=[] 道 サ=[] 道 シ=[] 道

問(3) (1)のA・Bの下にC・D・Eが設けられた。C=[] D=[] E=[]

問(4) (3)のDは大宝律令以前は何だった? []

問(5) (3)のC~Dは、それぞれ(F)・(G)・(H)が管理し、(C)の役所を(I)、
 (D)の役所を(J)という。また、(G)はもとの(K)が任命された。

F=[] G=[] H=[] I=[]
 J=[] K=[]

4 律令官制の特徴

① 四等官制: 各官庁の上級職員は(32.)・(33.)・(34.)・

(35.)の四等官で構成される。← 四等官の文字は各役所でちがう!

省→(36.), 国司→(37.)

郡司→(38.) 大宰府→(39.)・式・監・典

② (40.): 与えられた(41.)に応じて官職を決定

官人[役人・官僚]には家柄や能力によって41が与えられる! (← 正一位~少初位)

呼称	位階	太政官・省	衛府	大宰府	国司
貴族	正一位	太政大臣			
	正二位	左右大臣 内大臣			
	正三位	太納言 中納言	大將	帥	
	正四位	参議	中將	大式	
	正五位	少納言	衛門督 少將	少式	守

呼称	位階	太官・省	衛府	大宰府	国司
官人	正六位	大史丞	兵衛佐	監	介
	正七位	外記録	尉	典	掾
	正八位		志		目
	大少初位			令使	

各位に正・従、四位以下にはそれぞれ上下に分かれる。(例: 正八位上) → 計30階

③ 貴族の特権 ← 特に(42.)位以上の貴族には多くの特権

・(43.): (44.)位以上の子 & (45.)位以上の孫には、(46.)歳になると自動的に一定の位階が与えられる (父: 正一位太政大臣 → 子: 従五位下)

・ 経済的特権: 封戸(位封・職封)・田(位田・職田=租を免除)・季禄(春・秋)など
 一定数の戸(1戸=約25人) 資人(使用人) 鋏・布などの支給